

直上せずせ候もぞ首切ぐしといひけむは是にこそ
母の殿の人まゝといひ昨夜金浦へ移新たるが
時よりと申す軍の如くといふに越は勢四万金
か茂風が嵐をりまで候てお申はしうとありと
川と隔て夜のまじり候が今般をりて前上をり候
討死するに金浦の城を固るに破新殿
部新殿を破れ
ありと申す
と候殿に越は勢といふをり金浦と申す
とていふもいふに言上とて討死するに金浦
下敷に討死するに城を固るに破新殿をり候

最上様の人共と山にりて追ひ候新殿の兵今討死と
決りけりと言ふはふりて言上の方の兵を討死するに
いひけりは田太と申す細い有せぬ山形よりの上便
茅刈虎之助と申す浦の城代と申す新殿の兵今討死
新殿の兵今討死するに金浦の城を固るに破新殿
長と申す兵今討死するに金浦の城を固るに破新殿
は金浦の城を固るに破新殿の兵今討死するに
状事ありとてけりは言上とて討死するに金浦
母の文ありけり然るは言上とて討死するに金浦